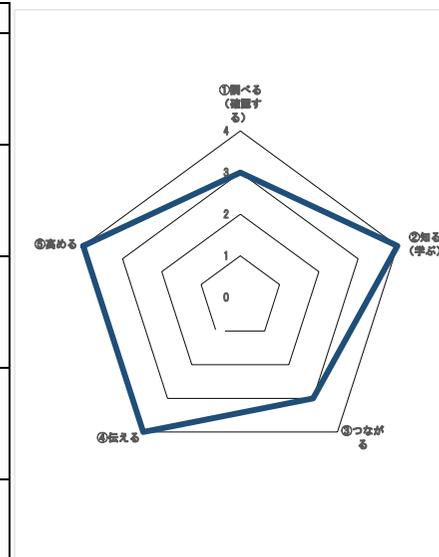


鷺別小学校区

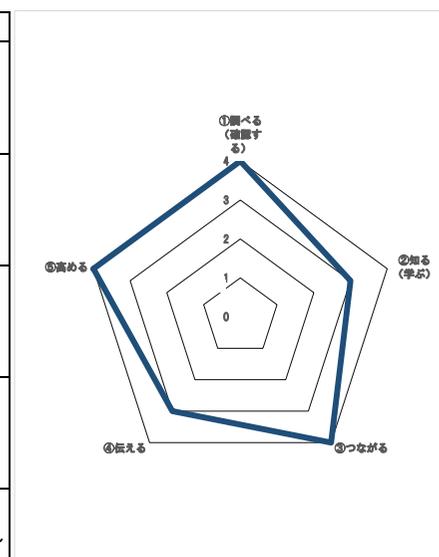
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○校区推進委員会を正式に開催はしていなかったが、普段の活動で顔を合わせる機会(しゃべっ茶お等)で情報交換や検討を行うことができた。	3	○校区全体に関わる事項については、改めて校区推進委員会を開催し、委員全体で共有していく必要がある。
②知る(学ぶ)	○住民座談会の開催により、住民が校区のきずな活動について学ぶ機会を設けることができた。	4	○住民座談会の開催を通じ、地域活動を知ることのできる機会を設ける。
③つながる	○日頃の活動において、関係機関とも連携しながら進めていくことができた。	3	○関係機関との連携を通し、より良い活動の展開を目指す。
④伝える	○住民座談会の開催を通し、校区のきずな活動の内容や、どういった経緯・想いで活動を行っているかを伝えることができた。 また、チラシでの広報活動を通し、町内会へ校区活動を伝えることができた。	4	○今後もきずなの取り組みを伝えていく。
⑤高める	○推進委員会を校区に組織することで、より良い福祉活動を検討していくことができた。	4	○今後も推進委員での意見交換の場を設け、活動のより良い展開を目指す。



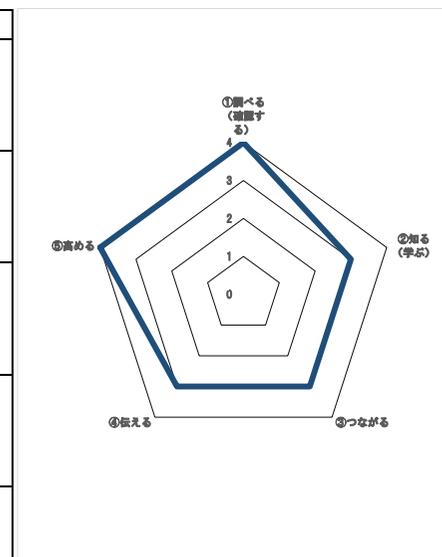
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○小地域ネットワーク活動の実施を通し、地域住民と関わりながら、情報把握を行うことができた。	4	○情報把握の手段としてキットを活用し、今後も地域のつながり作りを進めていく。
②知る(学ぶ)	○住民座談会の開催により、小地域ネットワーク活動についての学習の場を設けることができた。	3	○今後も活動について知ってもらう機会を設け、推進を目指していく。
③つながる	○小地域ネットワーク活動や子ども見守りたいの活動により、地域を見守り、つながりを生むことができた。	4	○今後も地域のつながりを図るため活動していく。
④伝える	○住民座談会の開催を通し、小地域ネットワーク活動の内容と、地域におけるつながりの必要性を伝えることができた。	3	○今後も活動について周知していく。
⑤高める	○地域住民に安心やつながりをもたらすことができた。	4	○平成30年度は校区の全町内会で小地域ネットワーク活動実施の意思が確認されており、今後も推進していく。



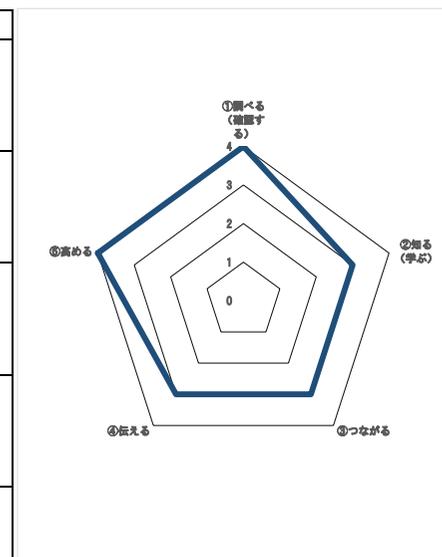
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい・子育てサロン、ふれあい会食会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○サロンやふれあい会食会の実施を通し、参加者や地域の実情を把握することができた。	4	○今後も地域の実情を把握する場としても意識し、実施していく。
②知る(学ぶ)	○サロンサポーター連絡会や、サロンでの講話等を通し、運営者も参加者も学びを得ることのできる場となった。	3	○今後も学びを深める機会としていく。
③つながる	○関係機関と連携しながら、サロン活動やふれあい会食会を行うことができた。	3	○関係機関とも連携しながら活動を行っていく。
④伝える	○住民座談会の開催により、サロン活動やふれあい会食会など地域に居場所があることの必要性を伝えることができた。	3	○今後も住民や関係機関に活動内容や、居場所の必要性を広く周知していく。
⑤高める	○ふれあい会食会の全町内会実施により、地域のつながりを深めることができた。	4	○今後も地域の居場所の機能として推進していく。



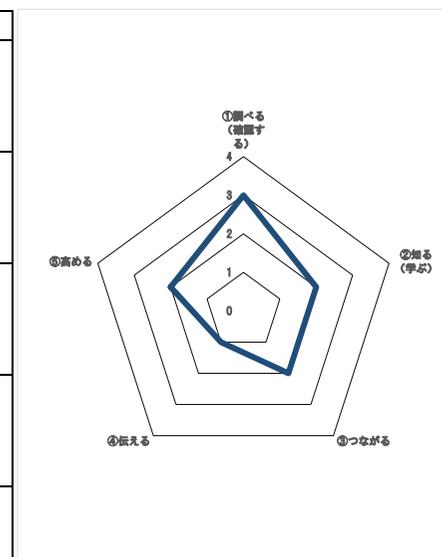
気軽に立ち寄れる地域の拠点づくり(しゃべっ茶お)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○しゃべっ茶おの実施により、参加者やスタッフ間での地域の情報共有を図ることができた。	4	○今後も地域の情報把握の場としても進めていく。
②知る(学ぶ)	○専門機関からの講話等を通し、知識を深める機会となった。	3	○今後も運営者、利用者ともに知識を深めることのできる場としていく。
③つながる	○関係機関や各町内会の代表、民生委員が連携することができた。	3	○引き続き連携しながら実施していく。
④伝える	○チラシの回覧や、対象者への呼びかけ、住民座談会での活動紹介を通し、しゃべっ茶おについて住民へ周知することができた。	3	○今後も活動を広く校区に知ってもらうことを目指し、周知を行う。
⑤高める	○場所の移転についてや、毎回の活動内容の検討を行い、運営者全員でより良い活動を目指し検討を行うことができた。	4	○今後も課題について活動しながら検討を進め、より良い活動を目指す。



住民主体の買い物支援サービスの展開(住民主体の買い物支援サービス)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○住民座談会の中でも、買い物支援の必要性についての声が聞かれ、実情を把握することができた場となった。	3	○地域の情報把握も行いながら、実施に向け検討を行う。
②知る(学ぶ)	○しゃべっ茶おの活動の中で、企業から説明を受け、移動販売について学びを深めた。	2	○実施に向け、地域全体で学び考えていく。
③つながる	○しゃべっ茶おの活動の中で、移動販売車の活用を視野に、企業とつながりながら実施を検討することができた。	2	○実施を検討するにあたっては、関係機関と連携しながら進めていく。
④伝える	○未実施	1	○実施にあたっては、広く住民や関係機関に周知を行う。
⑤高める	○地域課題の把握や、実施に向けての意見交換を行えたことで、事業実現に向けた意識を高めることができた。	2	○地域住民にとってより良い取り組みとなるよう、検討していく。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	池畠 泰彦	きずな推進委員	稲葉 雅幸	校区きずな推進委員	小林 靖親
サブリーダー	竹内 信子	きずな推進委員	須賀川信之	校区きずな推進委員	原田 敬三
サブリーダー	中原 義勝	きずな推進委員	伊藤 隆夫	校区きずな推進委員	柏木 修吉
きずな推進委員	雨洗 康江	きずな推進委員	岡本 政志	校区きずな推進委員	荒木 政博
きずな推進委員	川島 芳治	校区きずな推進委員	手塚 輝幸	校区きずな推進委員	小田 則子
きずな推進委員	村井美保子	校区きずな推進委員	佐々木 進	校区きずな推進委員	杉山 恵子
きずな推進委員	鈴木 信義				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月15日	鷺別小学校校区住民座談会	33名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「校区の福祉活動を進めるために必要なこと」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動）

はまなす町内会	鷺別2丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別3丁目町内会	ひまわり町内会
はまわし町内会	鷺別町4丁目町内会	

実施率 88.9% (8 / 9)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会）

ふれあい・いきいきサロン

ふれあい健康サロン	4丁目サロン	サロンあじさい
おいでやサロン	リビエールサロン鷺楽	かもめ
はまわしの会		

ふれあい会食会

はまなす町内会	鷺別1丁目町内会	鷺別町4丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別2丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
はまわし町内会	鷺別3丁目町内会	ひまわり町内会

実施率 100.0% (9 / 9)